

# ネイチャーセンターだより 新春号

## オオワシ



吹きつける風がピリッと冷たくなるころ、サハリン方面から羽を広げれば2mをゆうに越える、とても大きな渡り鳥・オオワシが根室にやってきます。黄色の大きなちばしと黒い体に一際目立つ白い肩羽がオオワシの美しさを引き立てています。その勇壮さと美しさから世界のバードウォッチャーの憧れの鳥になっています。

オオワシは湖が結氷して、氷下待網漁が本格的に始まると漁のおこぼれを目当てに風蓮湖へ集まってきました。1月から2月にかけてどんどん増え、2月中旬にはピークをむかえ、その数800羽にもなります。オオワシが集まる氷上の風景は圧巻です。(H)

## 1・2月のイベント

### 自然観察入門



カラ

ワシワシ・カラケラ ウォッチング

- 【日時】1月23日(日) 9:30~12:00 (雨・雪天中止)
- 【対象】どなたでも
- 【定員】先着20名
- 【申込】前日までに電話か直接センターへ
- 【概要】

厳しい冬を乗り越えるために、たくましさを秘めた知恵者やチャッカリ者の鳥たちが元気に生きています。そんな風蓮湖周辺で暮らすワシやカラ類と呼ばれる小鳥たちに会いに行きましょう。



ケラ



ワシ

### トレッキング

春国岱・氷の原野横断トレッキング

- 【日時】2月6日(日) 9:30~15:30 (雨・雪天中止)
- 【対象】高校生以上の方
- 【定員】先着20名
- 【申込】前日までに電話か直接センターへ
- 【注意】約10km歩きます。寒い季節ですので防寒着を。弁当持参

#### 【内容】

氷に閉ざされた春国岱と風蓮湖。氷の上を歩けるため、野生の生きものたちの聖域に唯一入り込むことが許される時期でもあります。春国岱の森、湿原を横断しながら、その奇跡を訪ねる雪上トレッキングです。

イベントの申込み・問い合わせは・・・電話でネイチャーセンターへ!

電話 0153-25-3047

イベントは全て事前申込みが必要です。申込締切までに電話か、直接ネイチャーセンターのカウンターでお申込みください。

## 自然予報

### 1・2月に見られそうな鳥など



== 1月 ==

風蓮湖の結氷にともなって冬の王者・オオワシの個体数が増えてきます。

草原・湿原にノスリ・ハイイロチュウヒがやってきます

越冬中のハマシギの群れが春国岱湾で見られるようになります。

海上にピロードキンクロ・コオリガモ・ホオジロガモなど海ガモ類の数が増えます。

氷上のゴマフアザラシの数がピークになる。

== 2月 ==

オオワシ・オジロワシの個体数がピークになります。風蓮湖では合わせて1000羽以上にもなります。

夕方エゾシカの群れが春国岱の森から海岸へ出てくるようになります。その数50頭前後にもなります。

春国岱の前浜に流氷が接岸します。



## NC スタッフ新年の抱負を一言！

2004年4月から春国岱ネイチャーセンターに勤務して10ヶ月を迎えましたが、その間、春国岱では四季おりの野山の植物、野鳥を見ることが出来ました。この、自然に満ち溢れている春国岱を市民の皆さんも是非体感してください。今年はあと数種類の花と鳥の名前を覚えたいと思います。(係長)



2005年はネイチャーセンターの開設10周年の年です。そして春国岱・風蓮湖がラムサール条約に登録されれば、さらに大きな区切りの年になります。それをきっかけに、より一層春国岱の魅力を多くの人に知っていただき、大切にしてもらえるように、レゾジャー同頑張ります!(O)



2005年の目標は!新たなイベントや展示、取り組みを行って、さらに面白いネイチャーセンターにしていきたいです。特に学校と観光との関わりを深めていきたいです。個人的にはせっかくやってきた春国岱の調査結果を発信することと、昨年はダイエットに成功したので今年はその体重を維持したいです...(H)



春国岱に来てもうすぐ初めての冬をむかえます。その自然は奥深くって、まだまだ片足をつっこんでいるだけのような気がします。新年は、多くの人を巻き込み、頭までどっぷりつかってやろうと思っています。楽しいネイチャーセンターにしていけるよう頑張っていけますので、どうぞよろしくお願ひします!(K)



## 海・森・湿原からの手紙

### 足輪でわかるタンチョウの経歴

道の駅「スワン44ねむろ」の近くで子育てしている標識タンチョウ『T77』(1995年温根沼生まれオス、前号は2歳で『T68』(1994年浜中町火散布沼生まれメス)とつがい(夫婦)になったところまで紹介しました。ところが翌年の秋、給餌場に姿を見せたT77のつがい相手には標識がありません。姉さん女房のT68は死んでしまったのか?と心配されましたが、その後T68も別のつがい相手と現われました。「ツルは一度つがいになると一生連れ添う」と言われていた話をくつがえした例として、大きな話題になりました。2羽の間に荷があったのか、言葉がわかれば聞いてみたいのですが。

離婚の痛手を乗り越え?新しい相手に乗り換えた?T77は翌年4歳の秋に初めて1羽の子連れ

で給餌場に現われました。子どもにも標識『46V』がつけられ、血液検査からメスとわかりました。初めてでしかも娘とあれば、父親の子煩悩ぶりは言うに及ばずです。給餌場の良い場所を自分達家族のなわばりとして、他のタンチョウを追い払っていました。なかなか強い一方で、娘の46Vとはつかず離れずでいつも一緒と、かっこいい父親ぶりを見せていました。(続く)(O)

『T77』は、今シーズンは11月18日までスワン44近くの第二東梅川河口のなわばりで過ごし、11月21日に鶴居村の「鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ」の給餌場に現われました。今年生まれの娘の45Pも元気です。



# しぜんじょうほうばん 自然情報板

## オオワシ

12月にはいって、春国岱周辺でもオオワシを頻繁に見かけるようになりましたが、風蓮湖が結氷していないこの時期は、まだまだ数は少ないです。

春国岱の木道を歩いてみると、上空を飛翔していたり、アカエゾマツの木にどかっとまとまっているところをみかけます。この時期は木のとっぺんを注目して探してみよう！



## 海ガモの仲間

顔の白いワンポイントがかわいい「ホオジロガモ」や、その名のとおり全身くろずくめの「クロガモ」を春国岱の沖で観察できます。このガモたちは潜水が得意で、すばっと全身水の中に潜って、どこからともなく浮かんできます。暖かいネイチャーセンターからも観察できます！



## コミミズク

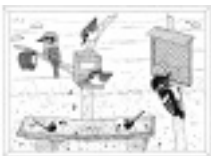
フクロウの仲間のコミミズクが春国岱の草原、湿原をねずみなどの小動物を探しながらひらひらと飛翔しています。開けた草原の、木や棒くいなどわりと目立つところにとまります。



## 小鳥のレストランオープン

ネイチャーセンターに餌台レストランを設置しました。早速かぎつけた、ハシブトガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、アカゲラがやってきていました。

これから寒さが一段と厳しくなっていけば、レストランにはひっきりなしに小鳥が集まってきます。全く飽きないんですね。昨年は珍客、オオアカゲラが登場していました。今年はどうでしょう？



## < 11月10日～24日に春国岱周辺で確認された鳥 >

- |         |       |         |
|---------|-------|---------|
| ダイサギ    | スズガモ  | ユリカモ    |
| アオサギ    | ホシロガモ | セグロカモ   |
| コクガン    | カワアイサ | オオセグロカモ |
| ヒシクイ    | ビ     | シロカモ    |
| オオハクチョウ | オジロワシ | ウミネコ    |
| コハクチョウ  | オオワシ  | アカゲラ    |
| マガモ     | オオタカ  | ハクセキレイ  |
| ヒドリガモ   | ハヤブサ  | ハシホソガラ  |
| オナガガモ   | タンチョウ | ハシブトガラ  |
| ハシロガモ   | ハマシギ  |         |

## = お知らせ =

観察路の一部に、湿った場所がありますので、長靴の着用をお勧めします。

観察路の木道で、老朽化の進んでいる部分があります。歩くときは足元に十分お気をつけください。





## ねいちゃーせんたー日記

11月の下旬に春国岱ネイチャーセンター施設ボランティアスククのイベント「スクク祭り」を開催。スクク祭りでは、「春国岱夕暮れコンサート」をメインに、クラフト、クイズラリーのスペシャル版を作成、実施した。一つのイベントを実施するだけでもすごいエネルギーが必要だが、3つのイベントをあわせてやってしまうという、ものすごいエネルギーが必要なイベントを実施してくれた。メンバーは忙しい時間をやりくりして、ネイチャーセンターに駆けつけ準備を行い、終わらない分は宿題で持ち帰り家で作業を行い、女性メンバーはお客さんに振舞うクッキーを作ったり...、メンバーの頑張りには本当に頭が下がった。イベント当日は約80名のお客さんを集め、冬の来館者が少ないこの時期のネイチャーセンターに活気を与えてくれた。心強いパートナー「スクク」のたのもしさを、改めて実感させられた1日だった。(H)



## ボランティアグループ「スクク」の活動

### 「スクク」って何？

「スクク」は春国岱ネイチャーセンターの活動を支援、発展させるために活動しているボランティアグループです。これまでセンターの展示物作成や、コンサートの実施などを行ない、今は紙芝居の作成などを行なっています。メンバーには、根室でずっと暮らしてきた方から転勤でいらした方まで、老若男女様々な方がいます。一緒にセンターを盛り上げていきませんか？メンバーは随時募集しています！



### 1月の「スクク」定例ミーティング

【日時】 1月15日(土) 13:29~

紙芝居PJなどの作業を実施していきます。

「スクク」の活動にご興味のある方、とりあえずミーティングを見てみたいという方など、お気軽にネイチャーセンターまでご連絡ください。

## 「ネイチャーセンターだより」のメール配信のお願い

通信誌の郵送料削減と省資源を目指し、一部ネイチャーセンターだよりをメールにて(ファイル形式はPDFファイル)配信しています。ご協力いただける方にはメールでの配信に切り換えさせていただきたいと思っております。郵送による発送をご希望の方には今後とも郵送にて配信いたします。

ご希望される方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い申し上げます。

連絡先: nemu\_nc@marimo.or.jp

10人以上  
集まれば!

### 春国岱ネイチャーセンターの団体向けプログラム

春国岱・自然学習林での野外での解説	(1~2時間 / 10~20名)
スライド上映 + 春国岱の自然のお話	(25分 / 10~45名)
自然学習林のクイズラリー	(1時間 / 10~50名)
タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム	(0.5~2時間 / 10~20名)

その他、ご希望に応じてプログラムをアレンジすることもできますのでご相談ください。

利用には申込みが必要です。詳細はネイチャーセンター(25-3047)までお問い合わせください。

などの野外ガイドは、学校団体・町内会等に限りさせていただきます。



## 春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

〒086-0074 根室市東梅 103 番地  
TEL 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570

- ・入館無料 (双眼鏡無料貸し出しあり)
- ・開館時間 4~9月 9:00~17:00  
10~3月 9:00~16:30

・ホームページ  
[http://www.marimo.or.jp/nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/nemu_nc/workn/index.html)  
・e-mail : nemu\_nc@marimo.or.jp

2004.12 発行

## 1・2月の休館日

<1月:1~5・11・12・19・26日>

<2月:2・9・14・16・23日>

休館日: ・水曜日(祝日の場合、その翌々日)  
・祝日の翌日(土・日曜は除きます)  
・12/29~1/5

